

## 研究実施における情報公開 (松戸歯学部単独研究)

研究の名称； 口腔扁平上皮癌の脈管侵襲とリンパ節転移に関する研究  
(承認番号 EC18-16-15-034-2)

研究機関・講座； 日本大学松戸歯学部・口腔外科学講座

研究責任者；教授・小宮正道

研究期間；平成 28 年 4 月 ～ 平成 33 年 3 月

### 1. 研究対象者

2000 年以降に本付属病院口腔外科にて口腔扁平上皮癌と診断され、外科的治療を受けられた方

### 2. 研究目的・意義

がんはヒトの細胞から発生するため、体中の如何なる場所からも発生します。それは口の中も例外ではありません。がんの治療をする上でとても重要なことは、そのがんが転移をしているか否か明らかにすることです。がんは多くの場合、転移するために血管やリンパ管の中を通過して転移します。その為、がんの手術をすると病理組織検査を行い、血管やリンパ管の中にがん細胞が入り込んでいないか確認します。病理組織学的診断は、手術材料のすべてにヘマトキシリンエオジン染色（必要に応じて各種染色）を施し確定診断されます。しかし、今後の治療方針や予後予測に関する所見は述べられていません。さらに、血管やリンパ管に入り込みやすいがんの特異的にみられる因子を見つけることで、今後の治療方針の決定や予後予測を向上させることができるかもしれません。

<目的>

血管やリンパ管に入り込みやすいがんの特異的にみられる因子をみつめます。

### 3. 方法

手術によって摘出した組織のうち、通常廃棄される病理組織検査時の残余検体(残りの部分)やホルマリン固定パラフィンブロック【FFPEブロック】を使用します。

試料や顕微鏡で観察可能な標本作製し、フローサイトメーターを用いて細胞の特徴や数を測定したり、染色を行いデータを取得します。取得したデータをもとに血管やリンパ管に入り込みやすいがんの特異的にみられる因子を検索します。

### 4. 研究に利用する試料・情報等

試料：手術で摘出した組織のうち、通常廃棄される病理組織検査時の残余検体(残りの部分)

情報：診療録情報（年齢・性別・既往歴・臨床所見、病理組織学的所見 等）

【試料・情報等の取扱い】

倫理委員会の承認を受けた研究計画書に従い、お預かりした試料・情報等には匿名化処理を行い安全管理措置を講じたうえで取り扱っています。

### 5. お問い合わせ先

この研究課題の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の研究内容の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ます

なお、この研究課題の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の情報・試料を「この研究課題に対しては利用・提供して欲しくない」と思われた場合にも、下欄の研究内容の問い合わせ担当者までその旨をご連絡下さい。試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としません。また、その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

<照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先>

研究責任者：日本大学松戸歯学部・口腔外科学講座・教授・小宮 正道

電話番号：047 - 360 - 9627

-----以上